

令和8年3月6日

園児 保護者 各位

学校法人日高学園

認定こども園日高ななつ星 園長 千葉 正睦

認定こども園日高さくらの木 園長 菊池 誉子

令和7年度学校法人日高学園学校評価の公表について

向春の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本園の教育保育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜りまして心より厚く御礼申し上げます

さて、標記につきまして過日、認定こども園日高ななつ星並びに認定こども園日高さくらの木の教職員による自己評価、保護者様によるアンケートを実施し、その結果を学校評価委員会の皆様に報告し、評価をいただきました。

つきましては、保護者の皆様に日高ななつ星並びに日高さくらの木の学校評価の内容を別紙のとおり報告いたします。

保護者並びに学校評価委員の皆様におかれましては、ご多用のところ沢山の声を園にお寄せいただきましたこと心より厚く御礼申し上げます。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の園の運営お呼び教育活動に役立てて参りたいと存じます。

記

1 令和7年度学校法人日高学園学校評価委員会(第2回目)

日時 令和8年2月16日(月) 午後3時00分から

場所 認定こども園日高ななつ星 ゆり組

学校評価委員名簿

役職	氏名
学校法人日高学園 評議員	菅原道久 様
学校法人日高学園 評議員	高橋健太郎 様
学校法人日高学園 評議員	船越千鶴子 様
学校法人日高学園 評議員	高橋博之 様
学校法人日高学園 評議員	辻山学 様
学識経験者(こども園保育者枠)	藤原けいと 様
学識経験者(地域枠)	菅原裕音 様
認定こども園日高ななつ星PTA 会長	佐々木翔 様
認定こども園日高さくらの木PTA 会長	小野寺寛晃 様

説明者

所属・職	氏名
学校法人日高学園 理事長	千葉 洋子
認定こども園日高ななつ星 園長	千葉 正睦
認定こども園日高さくらの木 園長	菊池 誉子
認定こども園日高ななつ星 副園長	千葉 真紀
認定こども園日高ななつ星 主幹保育教諭	川原 美智子、小松麻美
認定こども園日高さくらの木 主幹保育教諭	菊地 美樹子

① 学校評価委員の意見(評価)の要約

【日高ななつ星】

- ・学園の子どもたちの主体性を尊重する方針や、自然、芸術、地域交流といった「本物の体験」を大切にしている点は大きな魅力だと感じている。
- ・保護者アンケートから、一人ひとりを丁寧に見ている環境や日々の保育の様子、先生方の思いがしっかり伝わることは保護者にとって大きな安心感につながっていると思う。
- ・保護者は「預けられる園」ではなく「子の園に通わせたい」と思える明確な理由を重視する傾向にあると感じる。何をしている園かという事実だけではなく、「なぜそれを大切にしているのか」という理念や背景まで伝わるのが、選ばれる園のポイントになるのではないか。
- ・マルシェなど地域を巻き込んだ企画は大変素晴らしい取り組みだと感じた。園の温かい雰囲気や魅力が伝わる貴重な機会になっていると思う。一方で、在園児や卒園児の家族が参加者の中心となっていたので地域の方々にもより広く参加していただける工夫が必要ではないか。
- ・地域とのつながりがさらに深まれば園の存在意義や立ち位置がより明確になるのではないか。
- ・地域住民との交流が広がることで園が地域に開かれた存在であることが伝わり、結果としてブランディングや信頼性の向上にもつながるのではないか。
- ・保護者アンケートが記名式だと高い回答率は得られないと思う。だが、個人を特定してのカスタマイズハラスメント的な内容の記載がなく、その他に関しても沢山の意見が寄せられているので、問題はないかと思う。
- ・自己評価では成果が多く、またしっかりと課題も挙げられているが、職員自身が評価を厳しめにつけているのではないかと感じる。
- ・保育者だけではなく、調理員、運転手、事務員など職員全員参加で園経営に関わっていることが伝わってくる。
- ・保護者アンケートは、昨年度の内容と変更されている項目があったので、検討されている様子が見えました。
- ・保護者の意見から常に前向きに子どもたちと接して保育をしているのだと感じた。
- ・一人ひとりの子どもに寄り添う姿勢がうかがえました。できなかった、と記している部分もありましたがそれも日々考えているからこそその振り返りだと思います。
- ・行事の平日開催、土曜日開催のバランスをとるのは、難しいと思う。
- ・労働者不足の時代なので、職員が疲れているように見える。

【日高さくらの木】

- ・先生と子どもの距離がとても近く、温かな雰囲気を感じている。それがとても微笑ましく感じている。
 - ・保護者アンケートの結果から、職員各人の日々の努力は、しっかり保護者に伝わっていると思った。
 - ・「地域とのかかわり、自然とのふれあい、子どもの関心から行う活動などとても充実した活動が行われていると思います。(中略)先生方がゆとりをもって笑顔で働けることが子どもたちにも一番だと思います」との記載があるので、無理のないスケジュールを立ててください。
 - ・5歳児の保育ドキュメンテーションを見て、ミズキ飾りと節分について子どもたちがしっかりと学んで伝えることができることに驚きました。
- 行事については、職員の働き方や待遇向上のため、土曜日ではなく平日に実施しても良いと思います。しっかり休んだ方が、普段の仕事にも身が入ると思います。
- ・保育園は、親は仕事があるからこそ子どもを預けているので、保護者にとって平日開催は参加が難しいのではないか。

【園より】

- ・保護者アンケートの設問がマンネリ化しないように、また、分かり易い質問となるように検討します。
 - ・自己評価の目標策定は、学園の理念としっかり結びついたものとなるように考えていきます。
 - ・保護者からの要望等については、公益性を判断しながら対応します。
- また、説明を要するものについては、個人が特定されないように配慮して行います。
- ・入園式、卒園式については、幼保連携型認定こども園であることから教育日数の設定があるので、必ずしも土曜日と重なるものではありません。過去は土曜日に合わせて実施していましたが、曜日の並びによっては卒園式が3月上旬になってしまうこともあり、調整が難しくなったこともあります。